

令和8年3月17日

保護者、生徒の皆様

県立海老名高等学校

校長 七海 勝浩

「第2回 生徒による授業評価(令和7年12月実施)」集計結果のお知らせ

春寒の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しご理解・ご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、過日実施いたしました「生徒による授業評価」の結果がまとまりましたので、お知らせいたします。これは、生徒自らが学習への取組みを見つめ直すと同時に、教員が生徒の視点に立った授業改善を進め、生徒と教員との信頼関係をより一層深めるために実施したものです。

<評価項目>

大項目	小項目(具体的な評価項目)		項目の趣旨
授業の 在り方 について	1	毎時間の授業や単元(内容のまとまり)のはじめに学習のねらいを示したり、毎時間の授業や単元の学習のあとに学習したことを振り返ったりする機会がある	「主体的な学び」に関する項目
	2	単元(内容のまとまり)の学習の中で、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会がある	「対話的な学び」に関する項目
	3	単元(内容のまとまり)の学習の中で、課題について自分の考えをまとめたり、解決方法について考える場面がある	「深い学び」に関する項目
学習の状況 について	4	授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができた	「項目1」と関連の深い項目
	5	他者の考えを知ることにより、新たな考え方を知るなど、自らの考えを広げ深めることができた	「項目2」と関連の深い項目
	6	授業で得た知識をもとに、自分の考えをまとめたり、課題の解決方法を考えたりすることができた	「項目3」と関連の深い項目
	7	授業で学んだことをそれまでに学んだことと関連付けて理解することができた	より高次な学びの構築に関する項目
自由記述	その他、要望や感想があれば入力フォームへ記入してください。		

*評価は以下の4段階で実施。

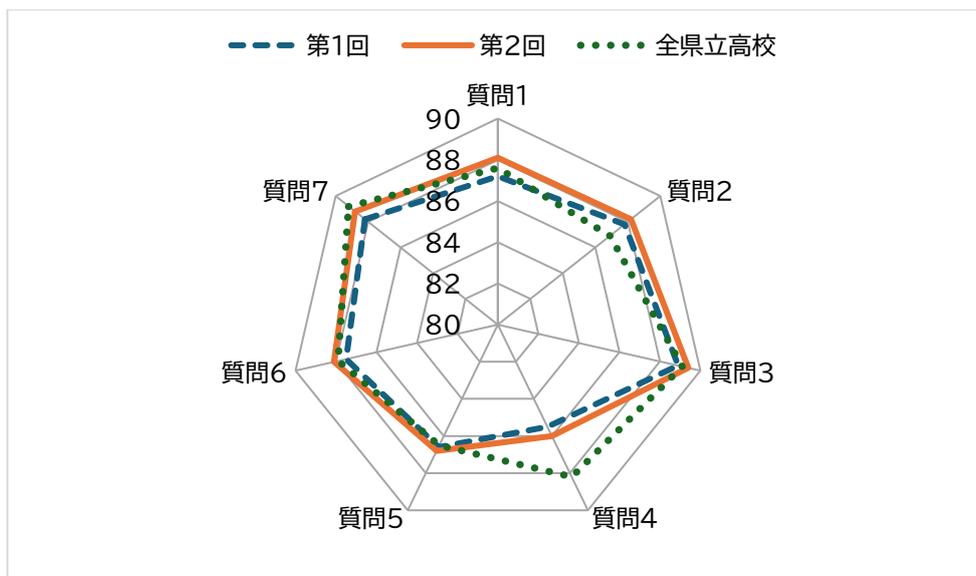
4:かなり当てはまる、3:ほぼ当てはまる、2:あまり当てはまらない、1:ほとんど当てはまらない

<集計結果>

肯定的な回答(評価「4 かなり当てはまる」又は「3 ほぼ当てはまる」)をした割合(%)

	質問1	質問2	質問3	質問4	質問5	質問6	質問7
第1回(7月)	87.2	87.8	88.9	85.5	86.6	87.5	88.2
第2回(12月)	88.1	88.2	89.4	86.0	86.8	88.1	88.8
令和6年度 全県立高校	87.6	86.9	89.1	88.2	86.5	87.9	89.2

回答総数 第1回 10,738件 第2回 10,482件



<分析>

- ・本校の授業評価は、多くの項目で肯定的な回答(評価「4 かなり当てはまる」又は「3 ほぼ当てはまる」)をした割合が 86%~89%という極めて高い水準にある。令和6年度の全県立高等学校及び中等教育学校(後期課程)における「生徒による授業評価」と比較しても、生徒が概ね満足感を持って日々の授業に臨んでいることが示された。
- ・第1回・第2回を比較した結果、全ての質問において「低下」は見られず、向上もしくは現状維持となった。
- ・令和6年度の県全体平均と比較した結果、本校は質問4および質問7の項目において平均を下回る結果となった。この現状を真摯に受け止め、以下の2点を重点事項として授業改善を推進する必要がある。
 - 第一に、質問4の改善に向け、生徒が自己の成長を確認できる仕組みを構築する。具体的には、スモールステップによる成功体験の積層や、学習記録の可視化を徹底し、生徒一人ひとりが「達成感」を実感できる授業づくりを図ること。
 - 第二に、質問7の課題である「知識の定着と統合」を促す。グループワーク等の協働学習で得た新たな視点を、既習事項と論理的に結びつける「収束(リフレクション)」の時間が不足していることが分析の結果明らかとなった。今後は、授業終盤における整理の時間を確実に確保し、点在する知識を構造化させる指導を強化すること。

問合せ先
副校長 武井
電話 046 (232) 2231